

## 平成 30 年度 事 業 計 画

京都経済センター（仮称）がいよいよ平成31年春に竣工する。京都産業会館は、今後とも京都の基幹産業である染織繊維・和装産業の振興拠点としての役割を担うことはもとより、これまで取り組んできた公益目的事業の継続、新たな収益事業を確立するとともに、「京都経済センター（仮称）」竣工後の効率的な建物管理運営の構築並びに同センター 2 階に設置する展示場等の施設利用促進に繋がる事業に取り組む。

### 1. 公益法人としての取組み

講演会等の文化教養事業や産学公連携促進事業、また地場産業の振興に寄与する事業への支援等を通じて、地域経済の発展と市民生活の向上に寄与するため、公益法人としての継続事業を推進する。

《主な事業》

#### (1) 京都市との連携事業

- ・「伝統産業の日」関連事業として「中高生の着付け体験」事業の実施

#### (2) 地場産業振興事業

- ・「KYOTO KIMONO AUDITION」事業の後援
- ・学生デザインコンペ「THE COMPE きものと帯」事業の実施

#### (3) その他事業

### 2. 法人運営の安定を図るための取組み

今後とも安定した公益法人としての経営基盤の安定を図ることを目的に京都経済センター（仮称）内の 2 階展示場に隣接する京都府中小企業センターが所有予定の多目的ホールを取得し、展示場と一体使用するなど、繊維産業・和装産業の振興をサポートする新たな収益事業確立の調査、研究を行う。

### 3. 「京都経済センター（仮称）」整備事業への取組み

「京都経済センター（仮称）」整備事業実現に向けて、選定事業者及び関係諸団体と密接に連携し、建物の効率的な管理運営体制の構築を図る。

また、新たな展示場等の施設管理運営体制をもとに、平成 31 年 4 月からの利用促進に向けて営業活動に取り組む。